

今号の作業

マフラーを組み立てる⑤



今号では、エキゾーストマフラー3番・外側のポスト部分にタップを立て、仮組みを行う。手順は14号で行ったエキゾーストマフラー2番と同じだ。今号で正しくタップを立てておけば、次回の組み立て作業がスムーズになるので、慎重に作業を行おう。

今号のパーツ



- ①エキゾーストマフラー3番・内側×1
- ②エキゾーストマフラー3番・外側×1
- ③ビス(Pタイプ・2.3x5mm)×5
(※1本は予備)

※モデルの設計上、パーツの形状が実車とは異なる場合があります。
※「組み立てガイド」で紹介しているパーツは実際に付属するパーツと一部仕様異なる場合があります。

使用する道具

- ・+(プラス)ドライバー(1番)
- ・マスキングテープ(セロハンテープでも代用可)

あると便利な道具

- ・2.3mm中タップ&タップホルダー

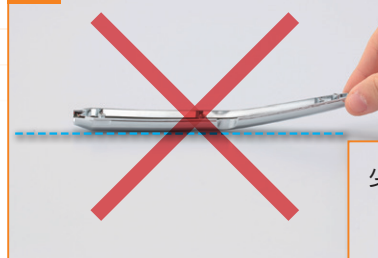
STEP 1

アルファベットの刻印を確認する。
今号と次号のパーツ刻印は「A」だ



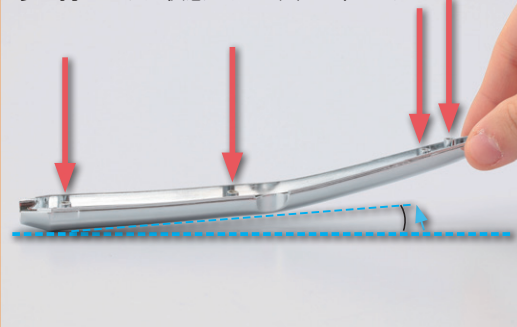
①エキゾーストマフラー3番・内側と②エキゾーストマフラー3番・外側の「パーツ裏面」を確認してほしい。数字の刻印のほかに「アルファベットの刻印」がある。今後提供されるものを含め、マフラー用パーツ合計4本中には、それぞれA~Dの刻印でパーツを識別できるようになっている。今号と次号では「A」の刻印があるパーツを組み立てる。

STEP 2



エキゾーストマフラー3番・外側の形状を確認。パーツの内側に4本の突起(「ポスト」と呼ぶ)があり、それらは少し傾いた状態になっているので、平らな台に置いた状態でタップを立てると、ビス穴が斜めになりやすい。

少し持ち上げた状態で、ビス穴が垂直になる



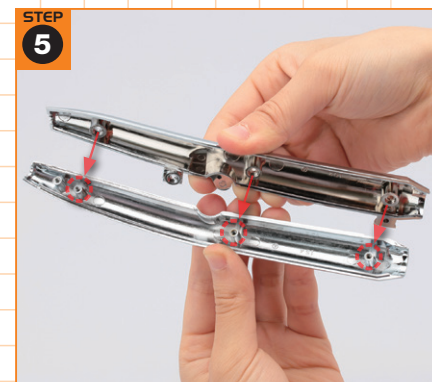
エキゾーストマフラー3番・外側のポストにタップを立てる場合は、写真のようにフロント側(細くなっている側)を少し持ち上げ、ポストが垂直になっていることを確認してから作業する。



③ビス(Pタイプ・2.3×5mm)と1番の+(プラス)ドライバーを使い、各ポストのビス穴にタップを立てる。深さはビスの半分程度で十分だ。なお、2.3mm中タップ&タップホルダーを使えば、簡単にタップを立てられる。



ポストのビス穴にタップを立てた状態。ビス穴の中に“切粉(「きりこ」=切削によって生じた金属くず)”が詰まらないよう、パーツを裏返して軽くたたいておく。



エキゾーストマフラー3番・内側を用意し、ビス穴の処理を終えたエキゾーストマフラー3番・外側と重ね合わせる。



内側のポストが互いにはまるようになっているので、ぴったりと位置を確かめながらはめ込む。



パーツが離れないよう押さえたまま、中央部分にマスキングテープを巻いて“仮組み”する。



組み立てに使用しなかったPタイプのビスは、ビニール袋に入れて大切に保管しておこう。なお、ビニール袋に号数を記入しておくと、後で判別しやすくなる。

今号の完成



これで今回の作業は完了だ。マシンの左側に装着される1&2番マフラーに続き、右側面用の3番マフラーまでがそろった。仮組みしたマフラーは、パーツが外れてしまわないよう、大切に保管しておこう。